

協会への要望

田中晴夫

先ずは北海道自然保護協会が健在であることを喜びたい。

いい機会なので要望を一点に絞って述べる。協会は支部制をとらないことになっているが、何らかの形で各地域の会員の連絡会のような形は作れないものだろうか。全道に千人以上の会員があり、同じ小樽市内に十五人もの「仲間」がいるのに、お互いに顔も知らない。小樽には数年来のゴルフ場問題があり、畠山先生夫妻を中心とした会が反対運動をやっているが、小樽在住の会員が協力してくれたらどんなに心強いかと思う。会員が、自分が住んでいる地域の自然保護運動にかかわる義務があるとは思わないが、目前で自然破壊が行われようとしている時に行動しないのも物足りない。協会はすぐれて実践的な組織であり、単なる研究会や趣味の会とは違うと思う。全道で一三八人というのはいかにも少ないが、同時に貴重な少数者でもあると思う。だからこそなおさら力を合せて事に当たらなければならない場合

もあるだろう。会員は大体普通の人（プロでない人）である。普通の人が政治権力や金を持つ企業とばらばらで素手で戦っては勝てる道理がない。やはり三人集まれば何とかで、それに協会のうしろだてがあれば工夫の余地もあるだろう。各地の自然破壊に抵抗する砦として、もう少し自然保護協会の会員が活動できる何らかの手立てが必要ではないか。